

<p>企業等1</p>	<p>井関農機株式会社 『 夢ある農業応援団ISEKI 』</p>
<p>弊社は日本唯一の農業機械の総合専門メーカーです。全国各地のネットワークで販売や営業提案、アフターサービスまで農業経営を総合的にバックアップいたします。</p> <p>弊社では作物・地域に合わせた農業機械体系(ハード)と栽培技術や ICT 技術(ソフト)の両面から低コスト農業をご提案しております。</p> <p>また、異業種からの新規農業参入への支援に取り組んでおり、具体的な事例についてご紹介いたします。</p>	

<p>企業等2</p>	<p>株式会社一ノ蔵 『 一ノ蔵型六次産業の実現に向けて 』</p>
<p>地域主産業である農業を守ること、環境保全型農業のリスク負担・栽培技術の習得および情報提供を目的に平成16年に農業参入。</p> <p>自社の酒かすを使った加工品の開発、販売を行っており、六次産業化に積極的に取り組んでいる。</p>	

<p>企業等3</p>	<p>有限会社川口納豆 『 農商工連携で、地域を活性化しよう! 』</p>
<p>昭和24年納豆製造を開始。昭和49年に法人化。個人で行っていた農業部門(主に水稻)を、川口納豆に移管し、農業法人となる。3年前より、酒造好適米を生産し、地元酒造メーカーに供給。今年からは、自社米を使用した煎餅を、仙台味噌醤油様、今野醸造様などの協力で発売開始。今後は、川口納豆や米を鶏に給餌し、卵も発売する予定。</p>	

企業等4	<p>クボタアグリサービス株式会社</p> <p>『 豊かな経験と、確かな技術で、日本の農業を支えたい ー 私たちは、明日の農業を応援しています。 』</p>
<p>これまでクボタ農業機械の拡販や農業施設の充実に役割を果たしてきましたが、「高齢化」、「農業の担い手不足」といった農業を取り巻く環境の変化への対応として、従来の枠組みにとらわれず広く農業全般に係わる事業に取り組んでまいります。</p> <p>これからも、常に業界をリードしてきた経験を活かして、農業機械・施設の販売に係わり、総合的・組織的な提案を強化することによって、日本農業の競争力向上に貢献します。</p>	

企業等5	<p>小林クリエイト株式会社</p> <p>『 人と栽培物を育てるためのICTがここにあります！ 』</p>
<p>農業の大規模化・自動化を下支えする、人と栽培物を育てる(管理する)ための ICT である「agis 生育管理システム」をご紹介します。</p> <p>本ICTは、自動車産業を中心とした工業系製造業の現場管理ノウハウを農業に転用しており、工業界の情報利活用のノウハウを農業界で実践することで、経営・営農における改善策をご提案します。</p>	

企業等6	<p>株式会社コロナアグリ</p> <p>『 機器メーカーによる農業参入 』</p>
<p>新潟に本社を置く、石油燃焼機器をはじめ空調家電機器や給湯機等の製造メーカーである株式会社コロナが、地元新潟に続き宮城県角田市で農業事業を開始して5年目。これまでの道のりと現状、これからの構想について紹介いたします。</p>	

企業等7	株式会社やなぎやのうえん 『 ラーメン屋からの農業挑戦－仕込みは畑づくりから－ 』
<p>より美味しく、より安心・安全なラーメンをつくるために、平成 20 年より麵の原料となる小麦の栽培に乗り出す。だが、最初は農地をなかなかみつけられず、知人から田んぼだった農地を三反歩借りて営農を開始。営農当初は、周囲の農家の方々に取り組みをあまり理解されなかった。しかし、コツコツと営農を続けて3年程経った頃から、周囲の目も変化し認めてくれるようになった。現在、オリジナル小麦粉「Oッ粉」として自社製麵工場での製麵に活用している。</p>	

研修機関1	鯉淵学園農業栄養専門学校 『 実践的な農業技術と農業経営を教えます。 』
<p>茨城県水戸市近郊にひろがる 50 ヘクタールの広大なキャンパスで、実践的な農業教育を実施しています。</p> <p>開学 70 周年を迎え、現在までに数多くの農業者を育ててきました。</p> <p>学生の農業教育の他、新たに農業に参入する企業様などが農業の技術を習得できるように実際に作物を作りながら「基礎から分かりやすい」指導をしています。研修は1ヶ月から1年まで、充実したラインナップの中から選択できます(研修期間は応談)。</p> <p>また、カリキュラムは農業実習中心ですが、農業の知識を得るため、座学も取り入れることにより、実践的な技術と農業経営が習得できます。</p>	

研修機関2	日本農業実践学園 『 農業を知るために、まずは農業を実際に体験してみませんか。 』
<p>農業は、テキスト通り、マニュアル通りにはうまくいきません。実際に種まきから収穫までを経験して、初めて理解できます。農業参入を考えたら、まずは現場で実践的な体験、研修をしてみませんか。</p> <p>当学園は、全国新規就農相談センター主催の「チャレンジ・ザ 農業体験・研修」で、稲作、野菜、水耕栽培、有機野菜、養牛、農産加工等を、年間通して毎週、毎月、3ヶ月毎に実施しています。特に、1ヶ月で種蒔きから収穫まで体験できる水耕栽培は、植物工場を考える上では最適な研修になると思います。</p> <p>週末に学ぶ「就農準備校」(農業入門コース、有機農業コース)も実施しています。</p>	

自治体・機構 1	北海道 公益財団法人 北海道農業公社 『 北の大地で農業を考えてみませんか？ 』
<p>北海道は、我が国有数の食糧供給基地として、専門的で大規模な農業経営が展開されています。一方で、今後の本道農業の発展のためには、農外からの新規参入をはじめ多様な担い手により地域を支えていくことが重要であると考えています。</p> <p>農地の取得(賃貸)にとどまらず、既存の農業法人への出資など、様々な参入の方法について、幅広く考えて参りますので、よろしくお願いいたします。</p>	

自治体・機構 2	青森県 公益社団法人 あおもり農林業支援センター 『 あなたの力で新たな「世界のブランド」をめざしませんか！！ 』
<p>青森県は、「きれいな水」と「健康な土」などの恵まれた生産基盤、そして何より多くの優れた「元気な人財(農業者)」がいます。</p> <p>こうした環境の中で、青森で農業参入してみませんか？</p> <p>一緒に『攻めの農林水産業』を進めていきましょう！！</p> <p>ぜひ、当ブースにお立ち寄りください。</p>	

自治体・機構 3	岩手県 『 食と緑の創造県いわて 』
<p>意欲ある農業参入企業の皆様に、岩手県農地中間管理機構による農地の利用調整や、いわて農業参入支援センターによる生産技術指導や地域の食産業事業者とのマッチングなどを通じて、「食と緑の創造県いわて」の担い手として活躍いただけるよう支援します。</p>	

自治体・機構 4	宮城県 公益社団法人 みやぎ農業振興公社 『 東北宮城の大地で農業ビジネス！ 』
<p>宮城県は、「ひとめぼれ」が誕生した良質米の産地であり、東北一のイチゴ生産を誇る農業の盛んな県で、東北地方としては、比較的温暖で、降雪量が少ない気候です。現在、30社以上の企業が農業に参入しており、主にパプリカ、トマト、葉物等の野菜生産に取り組んでいます。震災以降は、大規模な農業法人の設立や日本最大級のイチゴやトマト等の園芸団地が形成され、先端技術の導入も進んでいます。この機会に、是非、宮城県での農業参入をご検討ください。</p>	

自治体・機構 5	公益社団法人 秋田県農業公社 『 がんばる農家と新しい仲間を応援します！ 』
<p>農業が盛んな秋田県では就農者へのサポート体制が整っています。 秋田で農業、始めませんか？たくさんの仲間があなたを待っています！ 「あきたこまち」に代表されるように、秋田県は稲作中心の農業ですが、米価下落等農業を取り巻く環境が厳しい中、本県の課題である「規模拡大による競争力強化」と「米依存体質からの脱却」といった生産構造の転換に対して、農地中間管理機構である秋田県農業公社が果たすべき役割はとても重要です。</p>	

自治体・機構 6	山形県 公益財団法人 やまがた農業支援センター 『 山形県内での農業への新規参入や農業経営規模の拡大に向けて支援します！ 』
<p>これからの農業の維持・発展のためには、農外からの企業参入による新たな地域農業の担い手の確保や法人の経営規模拡大を進めていく必要があります。 山形県の農地中間管理機構に指定されている公益財団法人やまがた農業支援センターでは、平成27年6月15日(月)～平成28年3月10日(木)に農用地等の借受希望者の募集を全市町村全区域(35市町村129区域)で行っています。 本県での農業参入については是非御検討ください。</p>	

自治体・機構 7	福島県 福島県農業会議 公益財団法人 福島県農業振興公社
<p style="text-align: center;"><i>『企業のみなさん、ふくしまで農業参入してみませんか。』</i></p> <p>福島県は、冬の日照に恵まれた太平洋側気候から気温の日較差の大きい日本海側気候まで多様な気象条件を活かして、水稻を中心に野菜、果樹等の多彩な農作物の栽培が可能です。</p> <p>また、本県は交通アクセスも良く、物流面でも好環境であり、放射性物質の検査体制も確立されていることから、新鮮かつ安全・安心の本県農産物を流通させることができます。</p> <p>本県での農業参入を検討される際は、農地に関する情報提供、各種助成金の紹介等を行いますので、是非御相談ください。</p>	

相談1	商工組合中央金庫 仙台支店 <i>『 農業ビジネスにも総合的に支援 』</i>
<p>商工中金では農業分野の資金需要にも対応しております。また、6次産業化や異業種からの参入を支援するため、地域の各機関とも連携して情報提供面・金融面から総合的に支援しております。</p>	

相談2	日本政策金融公庫 農林水産事業 <i>『 企業の農業参入を資金面で応援します！ 』</i>
<p>日本政策金融公庫農林水産事業では、政府の目指す農林水産業の競争力強化へ向けて、企業の農業参入のほか農業法人など地域の中心経営体の発展、新規就農者の育成といった取り組みを推進しているほか、農業経営アドバイザーによる相談対応や、国産農産物・加工食品の展示商談会「アグリフードEXPO」による販路開拓支援などの経営支援サービスを提供しています。</p>	

相談3	<p>株式会社農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)</p> <p>『 A-FIVEは6次産業化への取組を総合的に支援します。 ～官民ファンドが6次産業化をサポート～ 』</p>
<p>農林漁業成長産業化支援機構は、国と民間が出資した官民ファンドです。農業と製造業・流通業等を組み合わせて6次産業化を目指す起業家の皆さんに、会社設立時の金融(出資等)支援、会社設立後の経営支援を行います。</p> <p>さらに、これから6次産業化を目指す皆さんのためには、商品開発から販路拡大までさまざまな分野・領域に精通した専門家を派遣する事業も行っております(6次産業化中央サポートセンター)。</p> <p>6次産業化を検討されている起業家の皆さん、是非、当機構の相談ブースにお越しください。</p>	

相談4・5	<p>農林水産省(企業参入全般、6次産業化関係)</p> <p>『 農林水産省は企業の農業参入を応援しています！ 農地制度や国の6次産業化施策等を御紹介します。 』</p>
<p>全面自由化されている企業の農業参入の仕組みや、農地中間管理機構などを御説明します。また、国の6次産業化施策等各種支援について御紹介します。</p> <p>このほか、農業政策に関する各種御相談、御疑問及び御意見など、担当者が丁寧に対応します。どのブースに相談にいけば分からない場合も含めて、お気軽にお立ち寄りください。</p>	

相談6	<p>農業参入法人連絡協議会(農業参入法人友の会)</p> <p>『 今 農業が変わろうとしている！ 』</p>
<p>農業に新たに参入した企業やNPO法人などのネットワークを構築し、相互の情報交換や情報発信などを行う組織として、平成18年に「農業参入法人連絡協議会(友の会)」を設立いたしました。</p> <p>主な活動は会員の経営発展に資するため、毎年8～10月に現地研修会を開催し、全国各地の農業参入企業等を視察しています。また、1～2月には、農林水産省の関連施策等についての勉強会を開催しています。</p> <p>農業参入をめざす企業の皆様の入会をお待ちしております。</p>	

相談7

全国農業会議所

『 わが国最大の農地情報サイト

全国の農地一筆ごとの情報を網羅 』

農業参入にあたって最大の課題は農地の確保です。栽培する作物と数量、販売計画を策定するうえでも農地情報はその基礎となるものです。「全国農地ナビ」は、農地法等に定められた農地一筆ごとの公表項目の情報をインターネットによって見ることができるわが国最大の農地情報サイトです。